

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
ほねと筋肉 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	有山 敦士			実務 経験	有	職種	柔道整復師				
授業概要											
体の各部位について幼児や老人にも理解しやすく説明できる知識を学びます。											
到達目標											
全身の骨格、筋の構造を三次元的に理解し、骨と骨との連結（関節）の構造と機能、それらが構成する運動器の全体構造とそれらの立体的な構成、骨格筋の起始、停止、支配神経および作用を理解し説明できるようにする。また、骨の生理的機能や筋の生理的機能を理解し、柔道整復師の業務で要求されるレベルで説明できるようになることを到達目標とする。											
授業方法											
全身の運動器について、骨構造、骨格筋の配置、起始、停止、作用を正確に理解し、関節がどのような構造を持ちどのような作用があるのかを具体的に理解できるよう、授業を進める。併せて骨格筋の支配神経、関節機能の調節機構について理解を深める。											
成績評価方法											
定期試験による評価											
履修上の注意											
医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
医歯薬出版 解剖学 改訂第2版－社団法人 全国柔道整復学校協会 監修－に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	骨の構造										
第2回	骨の発生と成長、連結、関節の種類										
第3回	関節面の形状による分類、骨の生理学										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
柔道整復科	
ほねと筋肉 1	
第4回	膜性骨化、軟骨性骨化
第5回	カルシウムの体内作用
第6回	カルシウム代謝ホルモン（血中Ca濃度）
第7回	カルシウム代謝、リン代謝
第8回	前半振り返り
第9回	骨代謝ホルモン1 ビタミンD
第10回	骨代謝ホルモン2 パラソルモン（上皮小体ホルモン）
第11回	骨代謝ホルモン3 カルシトニン
第12回	骨の病気1
第13回	骨の病気2
第14回	骨の病気3
第15回	後半振り返り